

2022 年度 生理研研究会  
ナノ・メゾスケールから捉えるシナプス制御機構の新展開

日時:2023 年 2 月 3 日(金)

場所:Zoomを使用した web 開催

2023 年 2 月 3 日(金)

8:00 - 8:50 受付

8:50 - 9:00 はじめに 大塚 稔久 (山梨大学 大学院総合研究部 医学域)  
深田 正紀 (生理学研究所 生体膜研究部門)

**Session 1** 最初の座長: 大塚 稔久、以降は各演者が次演題を担当

9:00 - 9:40 1. 上田(石原) 奈津実(東邦大学 理学部)  
記憶固定化の新たなシナプス制御機構の解明

9:40 -10:20 2. 高野 哲也(慶應義塾大学 大学院医学部)  
近位依存性ビオチン標識法を応用した空間的シナプトミクス

10:20 -10:30 休憩

**Session 2**

10:30 -11:10 3. 日置 寛之(順天堂大学 医学研究科)  
組織透明化法を用いた神経ネットワーク構造のマルチスケール解析

11:10 -11:50 4. 緑川 光春(東京女子医科大学 医学部)  
マウス体性感覚視床における神経回路の機能的・形態的成熟過程

11:50 -13:00 昼休憩

**Session 3**

13:00 -13:40 5. 杉江 淳(新潟大学 脳研究所)  
シナプスを介した神経回路を維持するための分子機構解明

13:40 -14:20 6. 谷本 拓(東北大学 大学院生命科学研究科)  
Synapse heterogeneity among the compartments of axon terminals  
単一神経細胞内のシナプスの多様性とその制御

14:20 -15:00 7. 川辺 浩志(群馬大学 大学院医学系研究科)  
神経科学研究における超解像 STED 顕微鏡の有用性と課題

15:00 -15:15 休憩

#### Session 4

- 15:15 -15:55 8. 西宗 裕史(東京都健康長寿医療センター研究所)  
神経筋接合部のアクティブゾーンタンパク質構成の超解像顕微鏡解析
- 15:55 -16:35 9. 永嶋 宇(東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床医学研究所)  
恐怖による摂食抑制を担う腕傍核-視床下部経路の制御メカニズム
- 16:35 -17:15 10. 有岡 祐子(名古屋大学 大学院医学系研究科)  
精神疾患発症リスクバリエントがもたらす共通の分子・細胞病理
- 17:15 -17:20 おわりに 大塚 稔久 (山梨大学 大学院総合研究部 医学域)  
深田 正紀 (生理学研究所 生体膜研究部門)